

令和5年12月1日

各報道機関文教担当記者 殿

金沢大学環日本海域環境研究センター 「国際シンポジウム -ポストコロナ社会における環境問題-」

12月6日、7日、金沢大学環日本海域環境研究センターは、**「国際シンポジウム -ポストコロナ社会における環境問題-」を実施します。**

本センターは、令和4年度に第2期目の文部科学省共同利用・共同研究拠点の認定を受け、第1期に続き、越境汚染の動態解明を重要な研究テーマの一つとして、国内外の関連機関と連携しています。また、環日本海域の統合環境研究を進めると同時に、日本海も含めた太平洋西部縁辺海域における南北断面での越境汚染実態の解明、さらに越境輸送汚染物質のヒトへの健康影響評価にも力を入れて展開しています。

今年度の国際シンポジウムは、これまでの気候変動などの地球規模の環境問題だけでなく、新型コロナウイルス感染症のパンデミック後における経済・産業の復興に伴って、新たに引き起こされた環境問題に焦点をあてた内容となります。**海外の研究機関からも多くの研究者を招へいし、これまでの研究成果を共有するとともに、本センターが構築してきた共同研究の研究ネットワークを今まで以上に拡充し、研究のさらなる推進を目指します。**

つきましては、**事前および当日の取材・報道**をよろしくお願ひします。

記

金沢大学環日本海域環境研究センター 国際シンポジウム -ポストコロナ社会における環境問題-

日時： 令和5年12月6日(水)13:00~18:00

12月7日(木)9:30~17:00

場所： 金沢大学自然科学大講義棟 AV講義室 (オンライン併用)

対象： 誰でも可 ※参加申込が必要です

※詳細は、別添チラシをご参照ください。なお、シンポジウムは英語で進行されます。

以上

<本件照会先>金沢大学環日本海域環境研究センター教授 唐 寧 Tel: 076-264-4455
金沢大学理工系事務部総務課総務係 廣田 Tel: 076-234-6821

Institute of Nature and Environmental Technology
International Symposium

国際シンポジウム
「ポストコロナ社会における環境問題」

Environmental Issues in a Post-Covid 19 Society

2023年12月6日(水) – 7日(木)

開催場所：金沢大学自然科学系大講義棟 AV講義室 (金沢市角間町)

オンライン：Zoom

主催：金沢大学環日本海域環境研究センター

申込フォーム : <https://forms.gle/rRZ3rwKNUyJWhPAx7>



公式ページ : <https://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/symposium/2023-12/>

プログラム

6 Dec. (Wed) 13:00-18:00

PM: Opening remarks

K-INET Invited Speaker 1

(Prof. Kwanchul Kim / Advanced Institute of Convergence Technology)

Session 1: Terrestrial Environment

Session 2: Poster Session (Online)

7 Dec. (Thu) 9:30-17:00

AM: K-INET Invited Speaker 2

(Prof. Seiya Nagao, Director of K-INET / Kanazawa University)

Session 3: Atmospheric Environment

PM: Session 4: Marine Environment

Session 5: Integrated Environment